

令和3年度

宇治市公共下水道事業会計  
決算審査意見書

4 宇監査第 109 号

令和 4 年 9 月 22 日

宇治市長 松村 淳子 様

宇治市監査委員	池 上 哲 朗
同	松 岡 ゆかり
同	松 峯 茂

### 令和 3 年度宇治市公共下水道事業会計

#### 決算審査意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和3年度宇治市公共下水道事業会計決算及び証書類、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表、その他決算附属書類を、宇治市監査基準に準拠して審査した結果について、次のとおり意見を提出する。



# 令和3年度宇治市公共下水道事業会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

令和3年度 宇治市公共下水道事業会計決算

## 第2 審査の期間

令和4年6月30日から同年8月23日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表及びその他決算附属書類が地方公営企業法第30条及び同法施行令第23条の規定に準拠して作成されているか、また、公共下水道事業の財政状態及び経営成績が適正に表示されているかを総勘定元帳、補助簿及び証ひょう書類と照合し、その経理手続、計数の正否の確認を行った。その他必要に応じ関係職員から説明聴取を併せて実施するとともに、当年度に実施した検査等の結果をも参考にして審査を行った。

## 第4 審査の結果

令和3年度宇治市公共下水道事業に係る決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表及びその他決算附属書類は、いずれも関係法令に準拠して適正に作成されており、その計数は正確で財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認めた。

## 第5 審査の概要

### 1 業務実績について

#### (1) 業務の状況

令和3年度の業務の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較	
			増減	増減率 (%)
行政区域内人口 (人)	182,841	184,432	△1,591	△0.9
全体計画区域内人口 (人)	181,692	183,272	△1,580	△0.9
処理区域内人口 (人)	176,856	176,890	△34	0.0
下水道整備率 (%)	97.3	96.5	0.8	—
管渠延長 (m)	547,604	540,605	6,999	1.3
接続人口 (人)	157,342	156,416	926	0.6
人口接続率 (%)	89.0	88.4	0.6	—
処理区域内戸数 (戸)	75,720	75,153	567	0.8
接続戸数 (戸)	63,661	62,922	739	1.2
戸数接続率 (%)	84.1	83.7	0.4	—
流入下水量 (千 $\text{m}^3$ )	19,295	19,952	△657	△3.3
有収水量 (千 $\text{m}^3$ )	16,870	16,830	40	0.2
有収率 (%)	87.4	84.4	3.0	—
職員数 (人)	50	52	△2	△3.8

(注) 職員数は、管理者(管理者の権限を行う市長)、部長及び会計年度任用職員を除き、水道事業を兼務する職員を含む。

接続人口は15万7,342人となり、前年度に比べ926人(0.6%)増加し、処理区域内人口は17万6,856人で、前年度に比べ34人(0.0%)減少している。

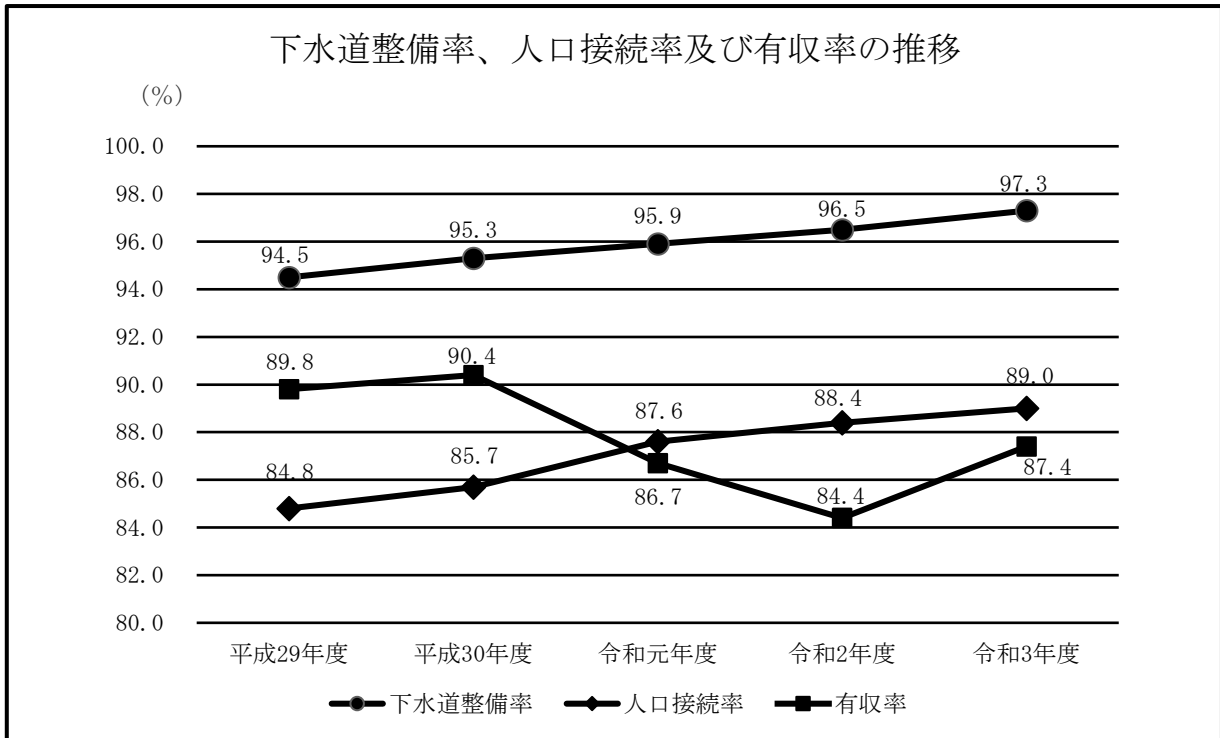
人口接続率は89.0%で、前年度に比べ0.6ポイント上昇している。

流入下水量は1,929万5千 $\text{m}^3$ で、前年度に比べ65万7千 $\text{m}^3$ (3.3%)減少している。

有収水量は1,687万 $\text{m}^3$ で、前年度に比べ4万 $\text{m}^3$ (0.2%)増加している。

有収率は87.4%で、前年度に比べ3.0ポイント上昇している。

最近5年間の下水道整備率、人口接続率及び有収率は、以下のとおりである。



## (2) 使用料単価と処理原価

有収水量 1 m<sup>3</sup> 当たりの使用料単価及び処理原価の推移をみると、次表のとおりである。

(単位: 円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
使用料単価 (A)	162.91	162.29	163.37
処理原価 (B)	169.15	179.41	182.10
利 益 (A-B)	△6.24	△17.12	△ 18.73
経費回収率 (A/B×100)	96.3	90.5	89.7

(注) 使用料単価＝下水道使用料÷有収水量

処理原価＝汚水処理費{維持管理費＋資本費(減価償却費＋企業債利息)}÷有収水量

使用料単価は162円91銭で、前年度に比べ62銭(0.4%)増加している。処理原価は169円15銭で、前年度に比べ10円26銭(5.7%)減少している。

この結果、差損が6円24銭となり、1 m<sup>3</sup> 当たりの差損は前年度に比べ 10円88銭減少し、経費回収率は96.3%で、前年度に比べ 5.8ポイント上昇している。

## 2 予算執行状況について

### (1) 収益的収入及び支出

令和3年度の収益的収入及び支出に係る予算執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減 (B) - (A)	収入率
収 益 的 収 入	営業収益	3,067,411,000	3,117,340,243	49,929,243	101.6
	下水道使用料	2,952,360,000	3,023,005,765	70,645,765	102.4
	雨水処理負担金	114,471,000	93,792,000	△20,679,000	81.9
	その他営業収益	580,000	542,478	△37,522	93.5
	営業外収益	2,668,091,000	2,437,678,375	△230,412,625	91.4
	受取利息 及び配当金	4,000	4,285	285	107.1
	他会計補助金	939,302,000	733,140,000	△206,162,000	78.1
	補助金	1,000,000	0	△1,000,000	0.0
	長期前受金戻入	1,712,737,000	1,676,450,464	△36,286,536	97.9
	消費税及び 地方消費税還付金	0	20,282,876	20,282,876	—
	雑収益	15,048,000	7,800,750	△7,247,250	51.8
	特別利益	0	790,214	790,214	—
	過年度損益 修正益	0	790,214	790,214	—
	収入合計	5,735,502,000	5,555,808,832	△179,693,168	96.9
	前年度収入合計	5,703,903,000	5,609,073,171	△94,829,829	98.3

(注) 決算額は、仮受消費税及び地方消費税 274,776,086 円を含む。

収益的収入は予算額 57 億 3,550 万 2 千円に対し、決算額 55 億 5,580 万 8 千円で、収入率は 96.9% となっている。決算額は前年度に比べ 5,326 万 4 千円 (0.9%) 減少し、収入率は 1.4 ポイント低下している。

(単位：円・%)

区 分		予算額	決算額	執行率	翌年度繰越額	不用額
収	営業費用	4,961,461,020	4,775,348,369	96.2	0	186,112,651
	管渠維持管理費	133,359,217	132,479,664	99.3	0	879,553
	ポンプ場等(雨水)維持管理費	36,693,000	34,519,716	94.1	0	2,173,284
	処理場維持管理費	388,598,000	360,684,732	92.8	0	27,913,268
	流域下水道維持管理費	697,027,783	687,984,516	98.7	0	9,043,267
	下水道普及費	23,951,000	9,333,689	39.0	0	14,617,311
益	特定環境保全公共下水道維持管理費	2,122,000	2,070,887	97.6	0	51,113
	総 係 費	410,229,020	378,488,764	92.3	0	31,740,256
的	減価償却費	3,216,921,000	3,124,456,702	97.1	0	92,464,298
	資産減耗費	52,560,000	45,329,699	86.2	0	7,230,301
	営業外費用	664,222,000	592,268,424	89.2	0	71,953,576
	支払利息及び企業債取扱諸費	624,146,749	592,193,173	94.9	0	31,953,576
支	消費税及び地方消費税	40,000,000	0	0.0	0	40,000,000
	雑 支 出	75,251	75,251	100.0	0	0
出	特別損失	10,480,000	7,871,367	75.1	0	2,608,633
	過年度損益修正損	10,480,000	7,871,367	75.1	0	2,608,633
	予 備 費	3,695,980	0	0.0	0	3,695,980
	支出合計	5,639,859,000	5,375,488,160	95.3	0	264,370,840
前年度支出合計		5,585,408,000	5,397,925,117	96.6	0	187,482,883

(注) 決算額は、仮払消費税及び地方消費税 124,643,749 円を含む。

収益的支出は予算額 56 億 3,985 万 9 千円に対し、決算額 53 億 7,548 万 8 千円で、執行率は 95.3% となっている。決算額は前年度に比べ 2,243 万 6 千円(0.4%)減少し、執行率は 1.3 ポイント低下している。不用額は 2 億 6,437 万円で、予算額に対する割合は 4.7%となっており、前年度に比べ 1.3 ポイント上昇している。



(2) 資本的収入及び支出

令和3年度の資本的収入及び支出に係る予算執行状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減 (B) - (A)	収入率
資 本 的 収 入	企 業 債	5,496,800,000	2,317,600,000	△3,179,200,000	42.2
	国 庫 補 助 金	3,096,314,000	1,690,830,000	△1,405,484,000	54.6
	他 会 計 出 資 金	535,138,000	448,488,000	△86,650,000	83.8
	他 会 計 補 助 金	238,589,000	280,186,000	41,597,000	117.4
	収 入 合 計	9,366,841,000	4,737,104,000	△4,629,737,000	50.6
	前年度収入合計	8,385,283,000	4,367,213,573	△4,018,069,427	52.1

資本的収入は予算額93億6,684万1千円に対し、決算額47億3,710万4千円、収入率は50.6%で、前年度に比べ1.5ポイント低下している。

(単位:円・%)

区 分		予算額	決算額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
資 本 的 支 出	建 設 改 良 費	8,754,195,000	4,134,388,782	47.2	2,763,300,000	1,856,506,218
	企 業 債 償 還 金	2,330,066,000	2,330,065,549	100.0	0	451
	予 備 費	4,000,000	0	0.0	0	4,000,000
	支 出 合 計	11,088,261,000	6,464,454,331	58.3	2,763,300,000	1,860,506,669
	前年度支出合計	10,119,226,000	6,046,720,547	59.8	3,562,000,000	510,505,453

(注) 決算額は、仮払消費税及び地方消費税 342,404,924円を含む。

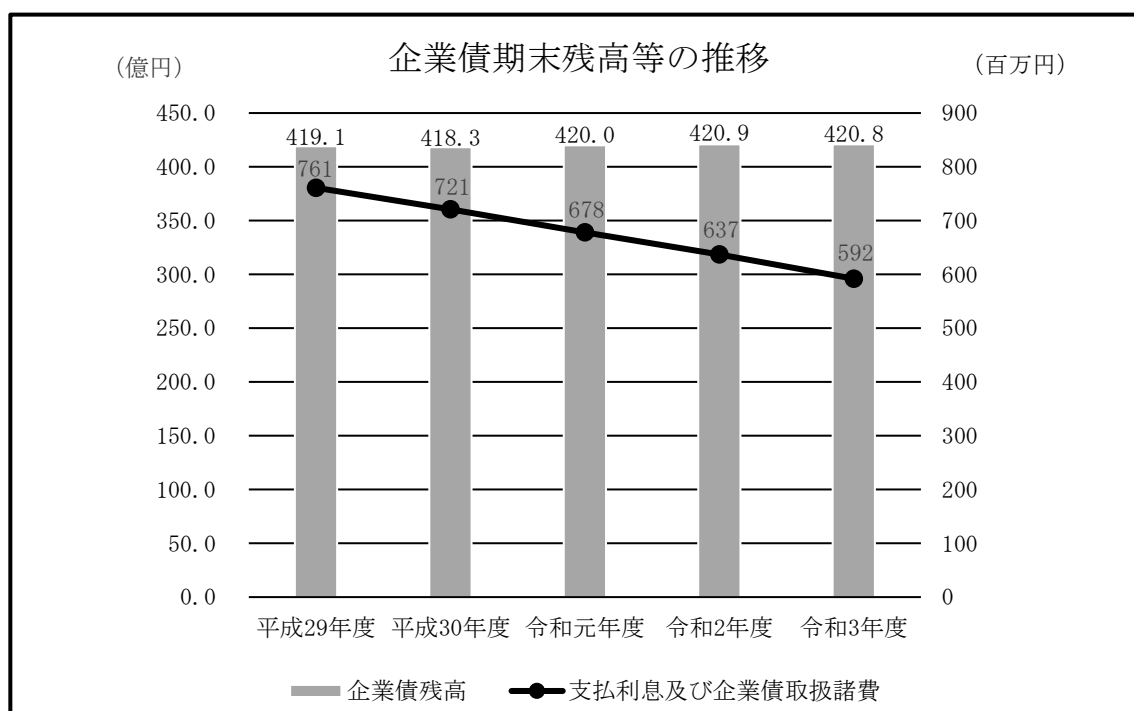
資本的支出は予算額110億8,826万1千円に対し、決算額64億6,445万4千円、執行率は58.3%で、前年度に比べ1.5ポイント低下している。不用額は18億6,050万6千円で、予算額に対する割合は16.8%となっており、前年度に比べ11.8ポイント上昇している。

建設改良費の内訳は、管渠(汚水)建設費 18 億 276 万 7 千円、管渠等(雨水)建設費 11 億 7,551 万 6 千円、処理場建設費 9 億 7,990 万 1 千円、流域下水道建設費 1 億 7,620 万 2 千円となっている。

当年度期末の企業債未償還残高は、前年度に比べ 1,246 万 5 千円減少し、420 億 7,947 万 3 千円となっている。

この結果、資本的収支の差引不足額 17 億 2,735 万円が生じたが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1 億 8,039 万 6 千円、過年度分損益勘定留保資金 2 億 1,040 万 6 千円及び当年度分損益勘定留保資金 13 億 3,654 万 7 千円で補填されている。

最近 5 年間の企業債期末残高等の推移は、以下のとおりである。



### 3 経営成績について

#### (1) 収益的収支の推移

令和3年度の経営成績は、総収益52億6,074万9千円に対し、総費用は52億6,075万円で、収支差引き467円の赤字決算となっている。総収益対総費用比率は100.0%となっている。

(単位:円・%)

区 分	総収益 (下水道事業収益)		総費用 (下水道事業費用)		純利益 (△は純損失)	総収益対 総費用比率
	金額	対前年度比	金額	対前年度比		
令和3年度	5,260,749,870	98.6	5,260,750,337	99.5	△467	100.0
令和2年度	5,333,101,794	104.4	5,288,682,270	103.8	44,419,524	100.8
令和元年度	5,110,025,033	99.9	5,092,772,078	100.0	17,252,955	100.3

#### (2) 収益的収支の状況

令和3年度の収益的収支の状況及び前年度との比較は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
下水道事業収益(ア)	5,260,749,870	5,333,101,794	△72,351,924	△1.4
営業収益	2,842,631,907	2,812,338,830	30,293,077	1.1
営業外収益	2,417,395,499	2,520,575,566	△103,180,067	△4.1
特別利益	722,464	187,398	535,066	285.5
下水道事業費用(イ)	5,260,750,337	5,288,682,270	△27,931,933	△0.5
営業費用	4,651,416,112	4,631,304,387	20,111,725	0.4
営業外費用	602,222,473	649,870,345	△47,647,872	△7.3
特別損失	7,111,752	7,507,538	△395,786	△5.3
差引額(ア)-(イ)	△467	44,419,524	△44,419,991	—

総収益52億6,074万9千円の内訳は、営業収益28億4,263万1千円(54.0%)、営業外収益24億1,739万5千円(46.0%)、特別利益72万2千円(0.0%)となっている。

営業収益は、前年度に比べ3,029万3千円(1.1%)増加している。その構成比率をみると、下水道

使用料 96.7%、雨水処理負担金 3.3%、その他営業収益 0.0%となっている。

営業外収益は、前年度に比べ 1 億 318 万円(4.1%)減少している。その構成比率をみると、受取利息及び配当金 0.0%、他会計補助金 30.3%、長期前受金戻入 69.3%、雑収益 0.3%となっている。

特別利益は、その全額が過年度損益修正益であり、前年度に比べ 53 万 5 千円(285.5%)増加している。

総費用 52 億 6,075 万円の内訳は、営業費用 46 億 5,141 万 6 千円(88.4%)、営業外費用 6 億 222 万 2 千円(11.4%)、特別損失 711 万 1 千円(0.1%)となっている。

営業費用は、前年度に比べ 2,011 万 1 千円(0.4%)増加している。

営業外費用は、前年度に比べ 4,764 万 7 千円(7.3%)減少している。

特別損失は、前年度に比べ 39 万 5 千円(5.3%)減少している。

総費用を主な性質別に分類して表示すると、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		増減 (A) - (B)	対前年度比
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率		
人 件 費	208,799,572	4.0	216,030,366	4.1	△7,230,794	96.7
委 託 料	295,336,482	5.6	304,943,809	5.8	△9,607,327	96.8
修 繕 費	17,037,250	0.3	28,692,100	0.5	△11,654,850	59.4
工 事 請 負 費	96,627,975	1.8	75,677,230	1.4	20,950,745	127.7
動 力 費	60,946,947	1.2	57,117,112	1.1	3,829,835	106.7
負 担 金	773,525,027	14.7	746,703,022	14.1	26,822,005	103.6
減 価 償 却 費	3,124,456,702	59.4	3,127,267,454	59.1	△2,810,752	99.9
固定資産除却費	45,329,699	0.9	39,874,924	0.8	5,454,775	113.7
企 業 債 利 息	588,635,299	11.2	628,277,656	11.9	△39,642,357	93.7
そ の 他	50,055,384	1.0	64,098,597	1.2	△14,043,213	78.1
合 計	5,260,750,337	100.0	5,288,682,270	100.0	△27,931,933	99.5

前年度より増加した主なものは、工事請負費 2,095 万円、負担金 2,682 万 2 千円である。

前年度より減少した主なものは、修繕費 1,165 万 4 千円、企業債利息 3,964 万 2 千円である。

#### 4 財政状態について

##### (1) 資産及び負債・資本の状況

令和3年度の財政状態及び前年度との比較は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
資 産 合 計	97,210,609,306	95,111,281,320	2,099,327,986	2.2
固定資産	94,182,519,451	93,489,366,024	693,153,427	0.7
流動資産	3,028,089,855	1,621,915,296	1,406,174,559	86.7
負 債 ・ 資 本 合 計	97,210,609,306	95,111,281,320	2,099,327,986	2.2
負債合計	86,791,544,597	85,140,704,144	1,650,840,453	1.9
固定負債	39,661,804,028	39,761,873,578	△100,069,550	△0.3
流動負債	5,287,180,711	3,741,574,680	1,545,606,031	41.3
繰延収益	41,842,559,858	41,637,255,886	205,303,972	0.5
資本合計	10,419,064,709	9,970,577,176	448,487,533	4.5
資 本 金	8,241,998,813	7,793,510,813	448,488,000	5.8
剰 余 金	2,177,065,896	2,177,066,363	△467	0.0
資本剰余金	2,177,066,116	2,177,066,116	0	0.0
利益剰余金	△220	247	△467	—

資産の総額は972億1,060万9千円で、前年度に比べ20億9,932万7千円(2.2%)増加している。資産の構成比率は、固定資産96.9%、流動資産3.1%となっている。

資産の内訳をみると、固定資産は941億8,251万9千円で、前年度に比べ6億9,315万3千円(0.7%)増加している。

流動資産は30億2,808万9千円で、前年度に比べ14億617万4千円(86.7%)増加している。

負債の総額は867億9,154万4千円で、前年度に比べ16億5,084万円(1.9%)増加している。負債の構成比率は、固定負債45.7%、流動負債6.1%、繰延収益48.2%となっている。

固定負債は、その全額が企業債396億6,180万4千円で、前年度に比べ1億6万9千円(0.3%)減少している。

流動負債は52億8,718万円で、前年度に比べ15億4,560万6千円(41.3%)増加している。繰延

収益は418億4,255万9千円で、前年度に比べ2億530万3千円(0.5%)増加している。

資本の総額は104億1,906万4千円で、前年度に比べ4億4,848万7千円(4.5%)増加している。資本の構成比率は、資本金79.1%、剰余金20.9%となっている。

剰余金の内訳は、資本剰余金及び利益剰余金となっている。資本剰余金21億7,706万6千円で、前年度に比べ増減がなく、利益剰余金は220円の欠損となっている。

## (2) 財務比率について

経営の健全性・効率性を示す主な指標について、最近3年間の推移をみたものが次表である。

(単位：%)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備 考
経常収支比率	100.1	101.0	100.4	使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標である。
累積欠損金比率	0.0	0.0	1.6	営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと）の状況を表す指標である。
流動比率	57.3	43.3	44.2	短期的な債務に対する支払能力を表す指標である。
企業債残高対事業規模比率	1,353.1	1,377.0	1,409.3	使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標である。

経常収支比率は、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要である。当年度は100.1%で、前年度に比べ0.9ポイント低下している。

累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められる。当年度は0%である。

流動比率は、1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが望ましい。当年度は57.3%で、前年度に比べ14.0ポイント上昇している。

企業債残高対事業規模比率は、当年度は1,353.1%で、前年度に比べ23.9ポイント低下している。

## 第6 総括意見

公共下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るとともに、浸水被害を防ぐために雨水を排除する根幹的な都市施設である。昭和52年度に事業着手した汚水の下水道整備は、令和12年度の完了を目指し進められている。今後も管渠や終末処理場の施設整備、再構築を行うことが必要であるが、水需要の逓減や人口減少等により、下水道使用料収入の大幅な増加は見込めない状況にある。

当年度の業務状況をみると、下水道整備率は97.3%となり、前年度に比べ0.8ポイント上昇している。行政区域内人口の減少もあり、処理区域内人口は17万6,856人となり、前年度に比べ34人減少することとなった。

人口接続率は89.0%となり、前年度に比べ0.6ポイント上昇している。施設建設に要した経費回収のため、供用開始後、年数が短い地域においても人口接続率の向上が速やかに図れるよう、今後とも積極的に取り組まれない。

処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合である有収率は87.4%となり、平成27年度に地方公営企業会計に移行して以降、最低の数値となった前年度に比べ、3.0ポイント上昇している。

[P122 参照]

次に、下水道事業の経営状況をみると、総収益52億6,074万9千円に対し、総費用は52億6,075万円で、僅少の純損失があり、赤字決算となった。

総収益は前年度と比べ、7,235万1千円減少している。これは他会計補助金等の減少によるものである。

総費用も前年度と比べ、2,793万1千円減少している。これは支払利息等の減少によるものである。

[P128 参照]

有収水量1<sup>m</sup>3当たりの収支比較では、使用料単価162円91銭に対し、処理原価が169円15銭で6円24銭の費用超過となっているが、1<sup>m</sup>3当たりの差損は前年度に比べ10円88銭改善している。引き続き、改善に努められたい。

[P123 参照]

資本的収支では、資本的収入は47億3,710万4千円で、前年度に比べ3億6,989万円増加し、資本的支出は64億6,445万4千円で、前年度に比べ4億1,773万3千円増加した。17億2,735万円の収支不足は当年度分損益勘定留保資金等で補填されている。

企業債は、当年度の新たな借入れが23億1,760万円、償還高が23億3,006万5千円であり、当年度末現在の企業債未償還残高は420億7,947万3千円となり、前年度に比べ1,246万5千円減少した。

[P126・127 参照]

企業の財政運営の健全性、安全性を示す指標となる財務比率においても、企業債残高対事業規模比率は逓減傾向にあるものの、公共下水道が今なお整備の途上にあるため多額の設備投資を必要とすることから、今後も整備完了までの間、新たな起債を要する状況が続くものと思われる。また、整備完了後も老朽化設備の維持管理や更新等に多額の投資が必要となることから、引き続き、効率的かつ効果的に事業に取り組むことが求められる。

[P131 参照]

今後、令和3年度から10年間の計画期間とする「宇治市公共下水道事業経営戦略」に基づき、雨水事業においては豪雨等による浸水被害を防ぐための施設整備を図り、汚水事業においては施設の整備・再構築を行うため、更なる効率化や経費の節減、使用料収入確保に向けた取組により収支均衡を図り、安定した事業運営に努められたい。





# 決 算 審 査 資 料

# 決算審査資料 目 次

第 1 表	予算決算対照比率表 .....	136
第 2 表	損益計算書構成比率表 .....	138
第 3 表	費用使途別比率表 .....	140
第 4 表	費用節別比率表 .....	142
第 5 表	貸借対照表構成比率表 .....	144
第 6 表	経営分析表 .....	146
第 7 表	キャッシュ・フロー計算書(間接法) .....	148

## 第1表 予算決算対照比率表

### 1 収益の収支

#### 収入

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	構 成 比 率		決 算 額	構 成 比 率		決算額の予算額 に対する割合	
		3年度	2年度		3年度	2年度	3年度	2年度
下水道事業収益	5,735,502,000	100.0	100.0	5,555,808,832	100.0	100.0	96.9	98.3
営 業 収 益	3,067,411,000	53.5	53.4	3,117,340,243	56.1	55.0	101.6	101.3
営業外収益	2,668,091,000	46.5	46.6	2,437,678,375	43.9	45.0	91.4	94.9
特 別 利 益	0	0.0	0.0	790,214	0.0	0.0	—	—

#### 支出

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	構 成 比 率		決 算 額	構 成 比 率		決算額の予算額 に対する割合	
		3年度	2年度		3年度	2年度	3年度	2年度
下水道事業費用	5,639,859,000	100.0	100.0	5,375,488,160	100.0	100.0	95.3	96.6
営 業 費 用	4,961,461,020	88.0	87.5	4,775,348,369	88.8	88.0	96.2	97.3
営業外費用	664,222,000	11.8	12.3	592,268,424	11.0	11.8	89.2	93.0
特 別 損 失	10,480,000	0.2	0.2	7,871,367	0.1	0.2	75.1	77.4
予 備 費	3,695,980	0.1	0.1	0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 2 資本的収支

### 収入

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	構 成 比 率		決 算 額	構 成 比 率		決算額の予算額 に対する割合	
		3年度	2年度		3年度	2年度	3年度	2年度
資本的収入	9,366,841,000	100.0	100.0	4,737,104,000	100.0	100.0	50.6	52.1
企 業 債	5,496,800,000	58.7	56.9	2,317,600,000	48.9	52.7	42.2	48.3
国庫補助金	3,096,314,000	33.1	35.4	1,690,830,000	35.7	33.5	54.6	49.3
他会計出資金	535,138,000	5.7	4.9	448,488,000	9.5	7.0	83.8	74.1
他会計補助金	238,589,000	2.5	2.8	280,186,000	5.9	6.7	117.4	124.5
そ の 他 資本的収入	—	—	0.0	—	—	0.1	—	5,784.5

### 支出

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	構 成 比 率		決 算 額	構 成 比 率		決算額の予算額 に対する割合	
		3年度	2年度		3年度	2年度	3年度	2年度
資本的支出	11,088,261,000	100.0	100.0	6,464,454,331	100.0	100.0	58.3	59.8
建設改良費	8,754,195,000	79.0	78.1	4,134,388,782	64.0	63.5	47.2	48.5
企業債償還金	2,330,066,000	21.0	21.8	2,330,065,549	36.0	36.5	100.0	100.0
予 備 費	4,000,000	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 第1表中の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

第2表 損益計算書構成比率表

借		方		
区 分	金 額	構 成 比 率		
		3年度	2年度	元年度
1. 営 業 費 用	4,651,416,112	88.4	87.6	86.4
(1) 管 渠 維 持 管 理 費	120,472,881	2.3	1.9	1.6
(2) ポンプ場等(雨水) 維 持 管 理 費	31,387,632	0.6	0.6	0.5
(3) 処 理 場 維 持 管 理 費	327,917,139	6.2	6.3	5.7
(4) 流 域 下 水 道 維 持 管 理 費	625,440,470	11.9	11.5	11.0
(5) 下 水 道 普 及 費	9,181,973	0.2	0.3	0.3
(6) 特 定 環 境 保 全 公 共 費 下 水 道 維 持 管 理 費	1,885,254	0.0	0.0	0.0
(7) 総 係 費	365,344,362	6.9	7.0	7.1
(8) 減 価 償 却 費	3,124,456,702	59.4	59.1	60.3
(9) 資 産 減 耗 費	45,329,699	0.9	0.8	0.0
2. 営 業 外 費 用	602,222,473	11.4	12.3	13.5
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	592,193,173	11.3	12.0	13.3
(2) 雑 支 出	10,029,300	0.2	0.2	0.2
3. 特 別 損 失	7,111,752	0.1	0.1	0.1
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	7,111,752	0.1	0.1	0.1
小 計	5,260,750,337	100.0	100.0	100.0
合 計	5,260,750,337			

(単位：円・%)

貸		方		
区 分	金 額	構 成 比 率		
		3年度	2年度	元年度
1. 営 業 収 益	2,842,631,907	54.0	52.7	53.5
(1) 下 水 道 使 用 料	2,748,308,108	52.2	51.2	52.1
(2) 雨 水 処 理 負 担 金	93,792,000	1.8	1.5	1.4
(3) そ の 他 営 業 収 益	531,799	0.0	0.0	0.0
2. 営 業 外 収 益	2,417,395,499	46.0	47.3	46.5
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	4,285	0.0	0.0	0.0
(2) 他 会 計 補 助 金	733,140,000	13.9	15.4	13.9
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	1,676,450,464	31.9	31.7	32.4
(4) 雑 収 益	7,800,750	0.1	0.2	0.2
3. 特 別 利 益	722,464	0.0	0.0	0.0
(1) 過 年 度 損 益 修 正 益	722,464	0.0	0.0	0.0
小 計	5,260,749,870	100.0	100.0	100.0
当 年 度 純 損 失	467			
合 計	5,260,750,337			

第3表 費用使途別比率表

区 分	人 件 費				物 件 費
	金 額	構 成 比 率		対前年度比	金 額
		3年度	2年度		
1. 営 業 費 用	208,799,572	100.0	100.0	96.7	4,442,616,540
(1) 管 渠 維 持 管 理 費					120,472,881
(2) ポ ン プ 場 等 ( 雨 水 ) 維 持 管 理 費					31,387,632
(3) 処 理 場 維 持 管 理 費					327,917,139
(4) 流 域 下 水 道 維 持 管 理 費					625,440,470
(5) 下 水 道 普 及 費					9,181,973
(6) 特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 維 持 管 理 費					1,885,254
(7) 総 係 費	208,799,572	100.0	100.0	96.7	156,544,790
(8) 減 価 償 却 費					3,124,456,702
(9) 資 産 減 耗 費					45,329,699
2. 営 業 外 費 用					602,222,473
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費					592,193,173
(2) 雑 支 出					10,029,300
3. 特 別 損 失					7,111,752
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損					7,111,752
合 計	208,799,572	100.0	100.0	96.7	5,051,950,765



(単位：円・%)

その他の経費			合 計			
構成比率		対前年度比	金額	構成比率		対前年度比
3年度	2年度			3年度	2年度	
87.9	87.0	100.6	4,651,416,112	88.4	87.6	100.4
2.4	2.0	117.6	120,472,881	2.3	1.9	117.6
0.6	0.6	105.1	31,387,632	0.6	0.6	105.1
6.5	6.6	97.8	327,917,139	6.2	6.3	97.8
12.4	12.0	102.6	625,440,470	11.9	11.5	102.6
0.2	0.3	65.7	9,181,973	0.2	0.3	65.7
0.0	0.0	95.4	1,885,254	0.0	0.0	95.4
3.1	3.0	101.2	365,344,362	6.9	7.0	98.6
61.8	61.6	99.9	3,124,456,702	59.4	59.1	99.9
0.9	0.8	113.7	45,329,699	0.9	0.8	113.7
11.9	12.8	92.7	602,222,473	11.4	12.3	92.7
11.7	12.6	93.0	592,193,173	11.3	12.0	93.0
0.2	0.3	78.4	10,029,300	0.2	0.2	78.4
0.1	0.1	94.7	7,111,752	0.1	0.1	94.7
0.1	0.1	94.7	7,111,752	0.1	0.1	94.7
100.0	100.0	99.6	5,260,750,337	100.0	100.0	99.5

第4表 費用節別比率表

区 分	金 額	構 成 比 率		対前年度比
		3年度	2年度	
1. 人件費	208,799,572	4.0	4.1	96.7
給 料	86,430,666	1.6	1.7	98.2
手 当	46,431,830	0.9	1.0	89.3
賞与引当金繰入額	16,183,000	0.3	0.3	102.8
報 酬	27,051,028	0.5	0.5	100.7
法 定 福 利 費	32,703,048	0.6	0.6	97.8
2. 物件費その他の経費	5,051,950,765	96.0	95.9	99.6
旅 費	897,009	0.0	0.0	82.9
報 償 費	51,200	0.0	0.0	26.3
備 消 品 費	2,074,735	0.0	0.1	47.0
燃 料 費	69,100	0.0	0.0	100.2
食 糧 費	667	0.0	0.0	120.0
印 刷 製 本 費	102,800	0.0	0.0	23.2
光 熱 水 費	1,185,276	0.0	0.0	114.5
通 信 運 搬 費	1,095,506	0.0	0.0	108.8
委 託 料	295,336,482	5.6	5.8	96.8
手 数 料	386,067	0.0	0.0	331.9
賃 借 料	594,373	0.0	0.0	32.6
使 用 料	64,770	0.0	0.0	154.6
研 修 費	172,017	0.0	0.0	76.5
修 繕 費	17,037,250	0.3	0.5	59.4
工 事 請 負 費	96,627,975	1.8	1.4	127.7

(単位：円・%)

区 分	金 額	構 成 比 率		対前年度比
		3年度	2年度	
動 力 費	60,946,947	1.2	1.1	106.7
薬 品 費	13,955,264	0.3	0.2	108.8
負 担 金	773,525,027	14.7	14.1	103.6
補 助 金	41,669	0.0	0.0	2.1
補 償 金	363,900	0.0	—	皆増
貸 付 金	7,623,115	0.1	0.2	91.4
保 険 料	512,247	0.0	0.0	100.4
貸倒引当金繰入額	166,743	0.0	0.0	19.6
有形固定資産減価償却費	2,968,621,754	56.4	56.2	99.8
無形固定資産減価償却費	155,834,948	3.0	2.9	102.1
固定資産除却費	45,329,699	0.9	0.8	113.7
企業債利息	588,635,299	11.2	11.9	93.7
一時借入金利息	3,557,874	0.1	0.2	40.4
雑 支 出	10,029,300	0.2	0.2	78.4
過年度損益修正損	7,111,752	0.1	0.1	94.7
合 計	5,260,750,337	100.0	100.0	99.5



(単位：円・%)

貸		方		
区 分	金 額	構 成 比 率		
		3年度	2年度	元年度
1. 固 定 負 債	39,661,804,028	40.8	41.8	42.0
(1) 企 業 債	39,661,804,028	40.8	41.8	42.0
2. 流 動 負 債	5,287,180,711	5.4	3.9	3.8
(1) 企 業 債	2,417,669,549	2.5	2.4	2.3
(2) 未 払 金	2,763,560,202	2.8	1.5	1.4
(3) 引 当 金	28,605,000	0.0	0.0	0.0
(4) そ の 他 流 動 負 債	77,345,960	0.1	0.0	0.0
3. 繰 延 収 益	41,842,559,858	43.0	43.8	44.0
(1) 長 期 前 受 金	53,337,837,680	54.9	54.2	52.8
収 益 化 累 計 額	△ 11,495,277,822	△ 11.8	△ 10.4	△ 8.8
4. 資 本 金	8,241,998,813	8.5	8.2	7.9
5. 剰 余 金	2,177,065,896	2.2	2.3	2.3
(1) 資 本 剰 余 金	2,177,066,116	2.2	2.3	2.3
(2) 利 益 剰 余 金	△ 220	0.0	0.0	0.0
負 債 資 本 合 計	97,210,609,306	100.0	100.0	100.0

第6表 経営分析表

	分析項目	3年度	2年度	元年度	類似団体平均値 (2年度)	全国平均値 (2年度)
経営の健全性・効率性	1. 経費回収率 (%)	96.3	90.5	89.7	102.4	99.0
	2. 施設利用率 (%)	68.6	71.5	70.7	67.7	59.6
	3. 人口接続率 (水洗化率) (%)	89.0	88.4	87.6	97.2	95.6
老朽化の状況	4. 有形固定資産 減価償却率 (%)	19.7	17.3	15.0	27.4	36.5
	5. 管渠老朽化率 (%)	3.5	3.6	2.4	5.9	5.7
	6. 管渠改善率 (%)	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3

指標の意味	算 出 式
<p>使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標であり、使用料水準等を評価することが可能である。使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが望まれる。</p>	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}} \times 100$
<p>施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標である。一般的には高い数値であることが望まれる。</p>	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$
<p>現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標である。公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%となっていることが望ましい。</p>	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$
<p>有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。一般的には、数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示している。</p>	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$
<p>法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合を示している。一般的には、数値が高い場合には法定耐用年数を経過した管渠を多く保有していることを示している。</p>	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$
<p>当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況を把握できる。数値が低い場合、耐震性や、今後の更新投資の見直しを検討する必要がある。</p>	$\frac{\text{改善（更新・改良・修繕）管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$

第7表 キャッシュ・フロー計算書（間接法）

区 分	3年度 (A)
1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	2,978,773,696
当年度純利益（△は純損失）	△ 467
減価償却費	3,124,456,702
固定資産除却損	45,329,699
引当金の増減額（△は減少）	△ 25,556
長期前受金戻入額	△ 1,676,450,464
受取利息及び受取配当金	△ 4,285
支払利息	592,193,173
未収金の増減額（△は増加）	103,360,712
未払金の増減額（△は減少）	1,382,103,070
小計	3,570,962,584
利息及び配当金の受取額	4,285
利息の支払額	△ 592,193,173
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,905,730,432
有形固定資産の取得による支出	△ 3,631,799,451
無形固定資産の取得による支出	△ 160,184,407
預託金(契約保証金)の支払による支出	△ 456,916
預託金(契約保証金)の受取による収入	77,702,876
国庫補助金等による収入	1,539,927,673
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	269,079,793
その他の収入	—
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	436,022,451
一時借入れによる収入	3,500,000,000
一時借入金の返済による支出	△ 3,500,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	2,317,600,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,330,065,549
他会計からの出資による収入	448,488,000
資金増加額(又は減少額)	1,509,065,715
資金期首残高	553,364,282
資金期末残高	2,062,429,997



(単位:円・%)

2年度 (B)	増減額 (A) - (B)	対前年度比
1, 575, 193, 118	1, 403, 580, 578	189. 1
44, 419, 524	△ 44, 419, 991	—
3, 127, 267, 454	△ 2, 810, 752	99. 9
39, 874, 924	5, 454, 775	113. 7
1, 810, 725	△ 1, 836, 281	—
△ 1, 688, 213, 883	11, 763, 419	—
△ 4, 165	△ 120	—
637, 074, 227	△ 44, 881, 054	93. 0
24, 956, 993	78, 403, 719	414. 2
25, 077, 381	1, 357, 025, 689	5, 511. 4
2, 212, 263, 180	1, 358, 699, 404	161. 4
4, 165	120	102. 9
△ 637, 074, 227	44, 881, 054	—
△ 1, 920, 852, 682	15, 122, 250	—
△ 3, 389, 901, 373	△ 241, 898, 078	—
△ 139, 855, 365	△ 20, 329, 042	—
△ 9, 020, 579	8, 563, 663	—
1, 415, 496	76, 287, 380	5, 489. 4
1, 337, 993, 425	201, 934, 248	115. 1
274, 308, 509	△ 5, 228, 716	98. 1
4, 207, 205	△ 4, 207, 205	皆減
400, 551, 516	35, 470, 935	108. 9
4, 550, 000, 000	△ 1, 050, 000, 000	76. 9
△ 4, 550, 000, 000	1, 050, 000, 000	—
2, 302, 300, 000	15, 300, 000	100. 7
△ 2, 209, 023, 484	△ 121, 042, 065	—
307, 275, 000	141, 213, 000	146. 0
54, 891, 952	1, 454, 173, 763	2, 749. 2
498, 472, 330	54, 891, 952	111. 0
553, 364, 282	1, 509, 065, 715	372. 7